2021年 6月 1日 No.206　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第206号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

最低賃金上げて生活改善を

今年は据え置きを許さず大幅な引き上げを

今年の最低賃金の目安が出るのは例年より早くなると言われています。今号は非正規で働く仲間の声を紹介します。

一日の食費代は平均500円

「郵便内務で深夜勤を週4回行っています。一人暮らしを始めてから、生活が厳しくても貯金は出来るようにと、1日2食にして、食費を出来るだけ抑えるようにし、外食や行楽は行っていません。自分は深夜帯の勤務だから夜間割増手当が支給され、時給に換算すると1500円相当になります。だから貯金出来ていますが、基本賃金だけで生活、貯金をしようとするとなると、途端に苦しいものになります。この賃金から社会保障費約5万円、アパート代月5万4000円、電気代、ガス代、水道代で約1万円、通信・携帯料金もかかるから食費代は一日平均500円に切り詰めています。日用品や趣味に使うお金等を考えると、食費にかける金額は少なくなります。昨年最低賃金が据え置かれガッカリしました。今年は大幅に引上げてもらいたい」

健康に生活できるそれが最低賃金

最低賃金は、その日を生活出来る金額と言うのでは無く、労働者が健康に生活でき、未来を考えて貯金が出来る金額が最低賃金と言えるのではないでしょうか。

郵政労働者は勤続期間が長い方が多く、時給単価が上がるスキル評価等も頭打ちとなっている状態で、昨年10月から1年間時給が変化しない方がほとんどです。今年も最低賃金が据え置かれると、給料が頭打ちになっている郵政労働者は更に長い期間時給が据え置かれ、生活改善が遠のいてしまいます。

そのような事を阻止するため、最低賃金引き上げを求める行動に参加して、声を上げていきましょう。

「命と暮らしを守れ」の行動

5月20日、命と暮らしを守れ、最低賃金引き上げを求める行動を行いました。11時から厚労省前での要求行動、12時30分から日比谷野外音楽堂での集会、その後国会に向けたデモを行いました。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか